

いざ検証!

昨年10月、津久井議長(右)から峯岸町長に「新年度予算に反映を!」と全会一致の提言3項目を提出。



**議会からの提言は
予算にどう反映されたのか**
令和3年度決算審議の後、議会が町に提言した3項目は、新年度予算にどう反映されたのか。議会が全会一致と絞り込んだ「重み」を峯岸新町長はどう受け取ったのか。町民の声とともに検証します!

提言 1 “デジ^{でん}田”交付金で「進め! DX推進」

※デジ田交付金…「デジタル田園都市構想交付金」の略。デジタルを活用した地域の課題解決や魅力を向上させるための自治体の取組を支援する国からの交付金

予算 ¥ がついた!

- 鉢形城歴史館常設展示室展示替事業 (3763万1000円)



デジタルコンテンツやARを取り入れた展示を検討(鉢形城歴史館)

- デジタル観光推進事業 (2999万6000円)
- 施設予約システム導入事業 (1973万6000円)
- 空き家の利活用促進事業 (327万5000円)
(空き家所有者の遠隔での相談窓口導入)

町の施策は数値化して示してほしい。さらに、期限を決めた検証を。

Interview Yorii

定年を迎えてから、毎年新しいことに挑戦しているんです。DIYでのリフォーム、カヌーづくり、パラグライダー、大学でのリカレント(学び直し)等を経て、今は登山やYouTube動画制作に没頭。新しいことを知るのは楽しいですよ。2045年にはAIが人間の知能を超える「シンギュラリティ」が起こると言われていますが、これからはZ世代(1990年~2010年生まれ)からアルファ世代(2010年~2024年生まれ)が未来を担っていく時代。寄居町もAIの世界を知り、豊かな発想力を持った若い世代が中心になっていってくれることを願っています。

かなざわとしあき
金澤俊明さん(西部)

業者さんの協力も不可欠

Interview Yorii

道路整備が地域の課題でした。町から無償で生コンをもらえる制度があると知り、昨年、申請しました。ボランティアとして協力してくれた業者のアドバイスをもらいながら、地域住民の皆さんで地面を平らにしたり、セメント流れ防止の作業をしましたが、鉄筋を入れるなど、専門的なところは業者に委託しないと難しいと思いますね。吉徳 昇さん(男衾)

町の制度を活用し、地域住民の協力で道路を整備

提言 2 地域からの要望多し! 「急げ! 町道整備」

ギカイ 議論

「町に道路整備を要望しても一向に進まない」との声がある。
(笠原則夫議員)

予算 ¥ がついた!

- 19路線(新規路線9・継続路線10)
鉢形地区小園中央道 町道118号線
南岸主要道路(農免道) 町道127号線ほか
- 生コン原材料費(200万円)

無償で もらえます 生コンクリート

町では、希望する自治会に対して、道路整備の促進を目的に生コンクリートを無償で提供しています。今後、5月の道路委員会においてアンケートを実施。令和6年度からは、各自治会の申請により現在の提供量(8立方メートル)にこだわらない、さらに業者の紹介もしていく予定とのことです。

お問合せ…寄居町役場 建設課

提言 3 主要施策の一つに! 「さらに! Withコロナ経済対策」

予算 ¥ がついた!

- 地域通貨 Yori-Ca 事業 (1億5079万4000円)
- まちなか居住促進補助事業(1020万円)
- 住宅改修資金補助事業(800万円)



広報よりい4月号
「家のリフォームが地域支援に
～住宅改修資金補助制度～」



ギカイの 視点

令和5年度の予算編成では、各課からの予算要求を積み上げると、収入が24億円余足りないという驚きの数字(広報よりい4月号P.9「予算編成過程の見える化」)。やりたいことは多々あれど限りある財源。全てとはいかないが、町民福祉の向上に資することであれば、積極的に事業化すべき。議会提言3項目の予算執行も価値あるものに……。引き続き注視していきます。

予算執行を価値あるものに